

学校法人佐久学園



# 佐久の薰風

No. 5

2016(平成28)年11月30日発行

発行人 学校法人佐久学園

編集人 学園通信編集委員会

<http://www.saku.ac.jp/>

## CONTENTS

- 佐久学園における研究活動の取り組み … 2・3
- こすもすサロン開設 … 4
- 生涯大学校紹介 … 4
- 講座のご案内 … 4
- 足育サポートセンター活動報告 … 5
- 領域紹介／基礎総合看護学 … 5
- 教員の活躍 … 5
- キャンパスピックアップ … 6・7
- 事務局だより … 6
- ベトナム人留学生・大学院科目等履修生・新任教員紹介 … 7
- 大学祭報告 … 8
- Voice of Graduates … 8
- サークル紹介 … 8



大学の教員には、教育活動は勿論ですが、同時に研究・実践活動が重要です。そして大学は、その研究成果を社会へ還元することを使命としています。

佐久大学および信州短期大学部では、看護・介護の質向上に向けた様々な研究を、個々に、または、グループやプロジェクトとし

て進めています。以下に最近の研究活動を紹介します。

研究の成果は「佐久大学看護研究雑誌」「佐久大学信州短期大学部紀要」に掲載し、佐久大学機関リポジトリで公開するほか、公開講座等を通じて広く活用していただけるよう取り組んでいます。

### 信州介護学研究会 (介護環境改善研究会)

研究会実施担当者／斎藤 和幸

信州介護学研究会は、2012年からJA長野厚生連とジェイエー長野会及び本学の共催により実施している「介護環境改善研究会」を、今年度から「信州介護学研究会(介護環境改善研究会)」に名称を変更して開催しました。研究会のテーマは一貫して「やさしい介護」、「介護を見つめ直す」を掲げ、介護する人とされる人のどちらにも優しい介護の探求や希望を抱いた後継者の育成を目的に開催しています。

今年度第5回の研究会では、事業所の介護職者と、人材を養成する本学の教員が中心となって、それぞれの理念や情報を共有し、介護環境や技術の改善・向上を目的に実施しました。また今回、将来介護・福祉の仕事を目指す高校生による、「自分たちができること、取り組んでいること」について座談会を行い、将来の夢と希望を語ってもらいました。

本研究会は、今後も継続して介護・福祉に関する地域の課題や介護を取り巻く諸問題の解決に向けた取り組みを行ってまいります。



### SAKU看護管理研究会

研究会責任者／吉川 三枝子

この研究会は2014年に設立し、今年で3年目になります。設立の目的は、東信地区の医療機関に勤務する看護管理者(主に看護師長)のマネジメント能力の向上を図り、地区のネットワークを確立することです。開催は隔月の第2木曜日、管理者が参加しやすい18時30分から20時までとしています。

研究会の内容は、参加者のニーズ調査を行い、これまで「問題解決法」「目標による管理」「人材育成方法」「医療安全管理」について知識の整理や新しい知見の確認、現場で発生する問題と解決法を討論しています。

開始した当初は40名程だった参加者が、今年は80名程に増えました。参加医療機関も16か所、職位も看護部長から主任レベルまで多様な人材が参加されています。本学からも5名が参加し、松下教授、清水教授、田中講師のパワーと、中心的に運営進行する内山助教の熱意によって、研究会を盛り上げています。



## 2016年度 佐久大学学内公募研究費採択課題

佐久大学では教員の研究活動に対し研究費の助成を行っています。

研究課題名	研究者
佐久市民の直売所の運営と健康づくり	細谷たき子(代表)、宮崎紀枝、依田明子、ほか
佐久地域における看護活動の継承に関する研究(及び佐久大学における拠点形成)	東田吉子(代表)、依田明子、飯島良子、ほか
看護管理者の成長を促進する有効な経験	吉川三枝子(代表)、松下由美子、吉田文子、吉田和美、内山明子
看護師のナースシューズ底の摩耗が体幹の動揺・歩行バランスに及ぼす影響	吉田和美(代表)、宮原香里、小野澤清子、征矢野あや子、ほか
運動プログラムに参加した高齢女性の歩行バランスと体幹筋肉量・尿失禁との関連	二神真理子(代表)
パートナーシップ・ナーシング・システム実施下における看護師の自己効力感に及ぼす影響因子の検討	内山明子(代表)、吉川三枝子、吉田文子
看護教員の教育能力に関する国際比較-看護教員の教育能力自己評価に関する本調査-タイ・ベトナム	小林睦(代表)、東田吉子、小山智史、ほか
新人看護師が経験する看護業務上の困難に関する検討国際比較研究-新人看護師の看護業務上の困難に関する調査-ベトナム	阿藤幸子(代表)、東田吉子、ほか
分娩期の助産診断・技術学における助産師学生の学習方略に関する文献レビュー	上原明子(代表)、柴田真理子、清水久美子、竹内良美

教員の研究成果は、「佐久大学看護研究雑誌」「佐久大学信州短期大学部紀要」に掲載しています。掲載した論文は、「佐久大学機関リポジトリ」で公開していますのでご覧ください。

佐久大学機関リポジトリ

<http://saku.repo.nii.ac.jp/>



佐久大学機関リポジトリ

# 佐久学園における研究活動の取り組み

## 足育研究事業

研究代表者／宮原 香里

佐久大学では、足育研究に力を入れており、今後さらに「足と歩行」に関する足育研究を推進し、健康長寿を延伸させるためのエビデンスとなる研究データを蓄積したいという展望をもって、私学ブランディング事業へも申請しています。



その研究の一つとして、「看護学生の足育ナースシューズ着用の試み」があります。

日本においては、歩くために重要な足の状態や靴の選択に関する知識の普及が十分とはいえません。そこで、ケアを提供する立場である学生にまず、足に関心を持ち、足にあう靴を正しく着用することが、歩行姿勢や足の疲労感などの心身に影響することを自覚してほしいと考えました。本年度は看護学部1年生を対象に、日頃の足や靴への関心、足のケアやトラブルの有無等の実態を調査しました。そしてドイツ整形外科靴マイスターによる靴の選び方、履き方、足の健康教育を実施しました。同時に、学内演習で着用するナースシューズを、既製品から各自のフットプリントを基に調整した「足育ナースシューズ」に変更しています。

本研究により、学生の意識の変化や心身への影響が明らかになれば、足育推進の基礎的資料が得られます。今後、学生の学習環境や看護職者の安全で安楽な働きやすい環境づくりの提言ができます。

## 看護研究塾

総括／征矢野 あや子

職場での看護研究に取り組む卒業生や近隣の看護職のお役に立ちたいと看護研究塾を開講しました(表1)。今年度は卒業生を含む29名が参加し、看護実践から生まれた研究課題に基づき、今はデータを収集しています。



受講者は文献検索やディスカッションを楽しんでおり、この研究成果は患者のQOLの向上や看護の環境の改善につながると期待されます。次年度も開催を予定しています。卒業生、院内研究の指導を学びたい方、大学院進学を考えている方の参加を期待します。

表1

	内容	方法
看護研究塾のプログラム (各90分)	5月 ①看護研究の基礎知識	講義
	②文献の読み方・文献検索	演習
	6月 ③研究課題の焦点を絞る	演習
	④量的なデータの収集方法	講義
	⑤質的なデータの収集方法	講義
	7月 ⑥進捗状況の確認と軌道修正	個別相談
	8月 ⑦研究倫理	講義
	⑧研究課題を明確にする	個別相談
	⑨研究計画を立てる	演習
	9月 ⑩進捗状況の確認と軌道修正	個別相談
	12月 ⑪データの整理と分析	演習
	1-2月 ⑫分析	個別相談
	⑬報告資料の作成	個別相談

## 最近の主な科学研究費助成事業採択課題

文部科学省(日本学術振興会)による助成を受けて行った研究活動です。

研究期間(年度)	研究課題名	研究種目	研究代表者	研究者
2012-2014	日本人用教師のティーチングスタイル測定尺度の開発	基盤研究(C)	吉田 文子	山内 豊明、岩崎 孝昭
2011-2013	若者の足のトラブル“巻き爪”のタイプとタイプ別ケアの確立	挑戦的萌芽研究	三石 清子	
2011-2014	CBPRと経営戦略の知見による保健事業を創出する戦略の体系化とその活用	基盤研究(C)	宮崎 紀枝	依田 明子、小野澤 清子、征矢野 あや子、栗岡 住子、北野 和子、佐々木 伸一、宮島 綾、清水 由佳
2011-2013	自律訓練法がもたらす周期患者のリラクゼーション効果	基盤研究(C)	箕輪 千佳	小坂橋 喜久代
2009-2011	看護学生の抑うつに関する国際比較研究	基盤研究(C)	田中 高政	竹尾 恵子、羽毛田 博美、小山 智史
2008-2011	認知機能低下に伴う転倒リスクの評価指標「地域版二重課題歩行」の開発	基盤研究(C)	征矢野 あや子	横川 吉晴
2014-2016	テキストコミュニケーションツールにおける学習意欲のデザインに関する研究	基盤研究(C)	斐品 正照	浅羽 修丈、三池 克明
2010-2013	ホーリスティックデザインによる介護服の最適設計とその定量的評価・規格化	基盤研究(B)	水谷 千代美	矢羽田 明美、高寺 政行、細谷 聡、梶原 莞爾、白井 汪芳、森川 英明

## JICA草の根技術協力事業

開発途上国の地域住民を対象とした協力活動を、JICAが政府開発援助(ODA)の一環として促進し、助長する事業です。

佐久大学・佐久市 タイ、チョンブリ県における町ぐるみ高齢者ケア・包括プロジェクト・サンスク町をパイロット地域として

## こすもすサロン開設 教員と学生と地域のみなさんが交流できる場を設けました



平成28年度長野県地域発元気づくり支援金及び佐久市佐久っつ支援金を活用し、「こすもすサロン」を開設しました。「こすもすサロン」は、本学が地域に開かれた大学として、地域の活性化や地域社会に貢献したいという想いから作られました。

今年度は、昨年度から行っている佐久大学公開講座～賢い患者になるための「患者学」～の流れを汲んだミニ公開講座を同サロンで開催し、身近で気になることをテーマに取り上げ、全8回行います。各テーマのもと、本学の教員が講師を務め、参加して頂いた地域の方や学生と、和気あいあいと交流の時間を楽しんでいます。

今後も色々なテーマを設定し、より多くの皆さんとの交流を企画して参りますので、是非ご参加ください。また、サロンを活用したい!講師をしてみたい!という声がありましたら、地域連携推進センターまでお寄せください。

地域連携推進センター TEL.0267-68-6680  
Mail: loc-co@saku.ac.jp

## 佐久大学信州短期大学部生涯大学校 これまでに大勢の地域の方々が受講されました

佐久大学信州短期大学部生涯大学校は、信州短期大学実践大学校として2000年にスタートし、16年の間、地域の皆さんとともに学んできました。これまでに開講された講座は、119講座、受講者は延べ1,700名を超えます。

当初の人気講座は、万葉集や源氏物語を題材にした古典文学講座で、その後開講された太極拳や英会話の講座も大勢の受講がありました。最近では、健康づくりやパソコン活用の講座も好評です。本学非常勤講師 朱先生による中国語講座は、2005年から現在まで続く息の長い講座になっています。

受講者からは、「スキルアップになった」「質問に熱心に答えてもらえる」「大学へ通うことで気持ちが若返る」等の感想をいただいています。これからもより魅力的な講座を開講していきます。

生涯大学校事務局 TEL.0267-68-6680



講座のご案内

詳細は本学ホームページにてご確認ください。 <http://www.saku.ac.jp/>

### 佐久大学公開講座～賢い患者になるための「患者学」【申込み不要/受講料無料】

認知症を乗り切るユーモア 講師/高田 佳子氏 12月18日(日) 13:30~15:30

### ミニ公開講座【申込み不要/受講料無料】

がんと暮らし・仕事 講師/水野 照美 1月20日(金) 10:30~11:30

### 信州短期大学部「認知症の予防・ケア」講演会【申込み不要/受講料無料】

認知症の人と家族に対する支援 講師/今井 幸充氏 12月 3日(土) 13:00~15:00

### 生涯大学校講座【要申込み/受講料6,000円】

シニアのためのパソコン講座第2期 講師/三池 克明 12月 5日(月) から全6回 毎週月曜・水曜 10:40~12:10

### 介護公開講座【要申込み/受講料無料】

人にやさしい・身体にやさしい清潔の介護 講師/関口 昌利 12月 9日(金) 13:00~14:30

介護ストレスに向き合う 講師/金高 茂昭 1月 6日(金) 10:40~12:10

認知症の人とのコミュニケーション 講師/菊池 小百合 1月13日(金) 13:00~14:30

物忘れ相談プログラムについて 講師/矢羽田 明美 2月24日(金) 13:00~14:30

## 足育サポートセンター活動報告



佐久市足育推進協議会「足育サポートセンター」を佐久大学内に開所し1年が経ち、相談件数は81件となりました。その内容は40～50歳代の方の外反母趾・内反小趾等の足の変形によるトラブルが最も多い状況です。最近では10歳未満のお子さんの足の相談も増加しています。

相談に来ていただいた方には、足の計測・問診・視診を行った後、足の状態に応じて足のセルフケア方法、靴の履き方・選び方等のサポートを行っています。

今年度から、佐久大学の教員に加え、佐久市足育推進協議会の会員が当番制で相談業務を行っています。靴の専門家や理学療法士等のアドバイスを受けることが可能となり、会員の専門性をより有効に活用できる体制となりました。

今後はさらにニーズに対応できるよう医療機関との連携を検討しています。

足育サポートセンター 第1・第3木曜日 9:00～11:30

### シリーズ領域紹介①

## 基礎総合看護学



基礎総合看護学領域の演習に励む1年次生

本領域は、看護の基盤となる人を理解し看護学を追求するための教育・研究をします。看護の基本を学ぶ科目にEBNを位置づけ、具体的には、「看護基礎理論」、「生活援助論」、「フィジカルアセスメント」、「看護展開論」、「看護倫理学」、さらに「看護教育学」、「看護管理学」、「看護リスクマネジメント」、「国際看護論」という授業科目を担当しています。1年次から4年次にかけて学ぶ幅広い学問であり、各科目とも学習難易度が高いため、教授戦略としてアクティブラーニングやチーム学習の手法を積極的に取り入れています。対話を重視し、看護の場がイメージできるように事例や画像を取り入れながら、学生のチームワークや責任感、コミュニケーションの力を育てることができるよう工夫しています。本学は平成28年度入学生より適用のカリキュラムの一部を見直し、科目名称の変更ならびに内容の修正を加えており、本領域はカリキュラム改善のため定期的に領域会議を持ち、話し合いを重ねています。



基礎総合看護学領域の授業に励む1年次生

12名の教員がそれぞれの学問分野で教育・研究しています。

吉川三枝子	人的資源管理、看護管理者の能力開発
束田 吉子	国際看護、国際協力
八尋 道子	看護倫理、Being a good nurse & Professionalism.
吉田 文子	Competency based performance evaluation & Teaching Style.
吉田 和美	基礎看護技術、足育
田中 高政	看護とユーモア、ヘルスアセスメント
箕輪 千佳	看護介入としてのリラクゼーション法の効果
二神真理子	認知症高齢者の終末期、事前意思、家族介護者
宮原 香里	足育、在日外国人児童生徒への健康支援
内山 明子	自己効力感、看護学生の学習意欲
柳澤 佳代	看護介入としてのリラクゼーション法の効果
高木 琴代	国際看護、国際協力

### SERIES①

## 教員の活躍



大学院／看護学部  
教授

征矢野 あや子

学生の皆さんが生まれた頃、私は「元気な高齢者がより長く健やかでいられることを研究したい」と考え、それ以来高齢者の転倒に関する研究に取り組んできました。主なテーマは、転倒や骨折などを経験した高齢者が自身の能力についてどのように見持っているか、転倒が及ぼす高齢者の生活への影響、複数の課題を同時に行うという認知機能と転倒の関係、認知症をもつ高齢者を身体拘束せずに転倒を予

防するケア…等です。これらの研究はとうい一人ではなし得ず、様々な専門領域から集まった研究仲間や同僚に助けられ、彼らから多くを学びました。そして私も看護職らしい視点を持ち、研究チームに貢献するよう心掛けてきました。皆さんにも、看護・介護という一つの専門領域にとどまらず、互いの年齢に拘らず、多様な背景を持つ仲間と公私にわたり様々な交流を楽しんでほしいと願います。

**6/18 福祉の職場説明会** 短期大学部2年生を対象にした福祉の職場説明会を行いました。



**6/23 NCPN講習会** 別科助産学専攻の学生を対象に、新生児蘇生法「専門」コース講習会を学内で行いました。



**6/25 8/6 8/27 佐久大学 オープンキャンパス** 今年度のオープンキャンパスを3回開催しました。



**7/5 「介護」を考える茶話会** 小島ブンゴート孝子先生がデンマークの福祉について話題提供し、介護職の方や短期大学部の学生たちと意見交換を行いました。



**6/11 同窓会定期総会** 佐久大学同窓会「秋桜会」の定期総会が行われました。



**6/12 JA長野厚生連交流会** 佐久グランドホテルにおいて、JA長野厚生連各病院に勤める本学卒業ナースによる病院紹介と、食事をしながらの交流会が行われました。



**6/17 7/15 8/5 8/26 9/16 10/14 ミニ公開講座**

佐久大学と地域のみなさんの交流の場として「こすもすサロン」を開設しました。ミニ公開講座を8回実施しました。



**5/13 開学祭** ソフトバレーボール大会や、藤川幸之助さんによる講演会が行われました。



**5/19 救命講習** 短期大学部2年生が、授業の一環として「普通救命講習」を受講しました。



**5/21 佐久病院祭** 第70回JA長野厚生連佐久総合病院の病院祭が行われ、本学から多くの学生がボランティアとして参加しました。



**5/28 6/25 7/16 8/6 8/27 9/24 信州短期大学部オープンキャンパス** 今年度のオープンキャンパスを6回開催しました。



**6/3 6/10 6/17 教員対象説明会**



県内の高等学校教員を対象に、本学入試の説明会を行いました。

## 事務局 だより ●入試広報課

入試広報課は、佐久大学看護学部、大学院、別科助産専攻、佐久大学信州短期大学部福祉学科の入学試験に関する業務、また、オープンキャンパス、入試相談会、出張模擬講義、Webサイトなどの大学の広報全般に関する業務や学園情報誌、大学案内、学生募集要項などの刊行物の作成、保管管理についての業務を執行しています。

- ① 入学試験に関する業務
- ② 大学の広報全般に関すること
- ③ オープンキャンパスに関すること
- ④ 進学相談会、入試説明会などに関すること
- ⑤ 出張模擬講義に関すること
- ⑥ Webサイトに関すること
- ⑦ 学園情報誌に関すること
- ⑧ 刊行物の作成・保管管理に関すること
- ⑨ その他、大学の広報に関する業務全般

### 12月以降の入試日程

入試種別	入試区分	試験日	出願期間 (消印有効)	
看護学部看護学科	一般入学試験	前期 平成29年1月30日(月)	平成29年1月10日(火) ~ 1月23日(月)	
		後期 平成29年2月27日(月)	平成29年2月10日(金) ~ 2月21日(火)	
看護学部看護学科	センター試験 利用入試	A日程 大学入試センター試験 平成29年1月14日(土)・15日(日)	平成29年1月5日(木) ~ 1月25日(水)	
		B日程	平成29年2月15日(水) ~ 2月28日(火)	
信州短期大学部福祉学科	推薦入学試験	自己推薦B 平成29年2月9日(木)	平成29年1月16日(月) ~ 2月2日(木)	
		自己推薦C 平成29年3月9日(木)	平成29年2月13日(月) ~ 3月2日(木)	
	一般入学試験	A日程	平成29年1月30日(月)	平成29年1月10日(火) ~ 1月23日(月)
		B日程	平成29年2月27日(月)	平成29年2月10日(金) ~ 2月21日(火)
	センター試験 利用入試	A日程	大学入試センター試験 平成29年1月14日(土)・15日(日)	平成29年1月5日(木) ~ 1月27日(金)
		B日程		平成29年2月15日(水) ~ 2月28日(火)
C日程		平成29年3月1日(水) ~ 3月10日(金)		
社会人入試	B日程	平成29年2月9日(木)	平成29年1月16日(月) ~ 2月2日(木)	
	C日程	平成29年3月9日(木)	平成29年2月13日(月) ~ 3月2日(木)	
別科助産専攻	社会人入試 推薦入試 一般入試	—	平成28年12月17日(土) ~ 平成28年11月14日(月) ~ 12月9日(金)	
	大学院	一般選抜 推薦選抜	後期 平成28年12月17日(土) ~ 平成28年11月14日(月) ~ 12月9日(金)	

9/29 JICA草の根技術協力事業

佐久市と佐久大学が実施しているJICA草の根技術協力事業による介護研修が行われ、タイ、サンスク町からヘルスポランテア7名が参加しました。



10/12 ぞっこん! さく市

学生が健康未来ランド、計測ゾーンでフットプリント、足の計測、足の問診等のボランティアで参加しました。



10/14 国際福祉機器展視察

介護環境改善研究事業として東京ビッグサイトで開催された「国際福祉機器展」の視察に行きました。



10/23 大学祭

今年も佐久大学秋桜祭 & 信州短期大学部信陽祭が行われました。(→P.8)



8/28 信州介護学研究会 第5回信州介護学研究会(介護環境改善研究会)を開催しました。



9/1 高校生と対談

盛岡理事長が、地域医療をテーマに岩村田高等学校3年生と対談を行いました。



9/8 ナーシングセレモニー

半年間にわたる実習を前に、看護学部3年生85名のナーシングセレモニーが行われました。



9/23 フィッティング講習会

看護学部1年生を対象に「足育ナースシューズ」のはき方教育、フィッティングの講習会が開催されました。



7/14 ベトナム人留学生プレゼンテーション

大学院修士課程のベトナム人留学生がプレゼンテーションを行いました。



7/30 小海町祇園祭

学生が小海町祇園祭にボランティアで参加しました。



8/3 上田高等学校模擬授業

上田高等学校の生徒が訪れ、本学教員による模擬授業をおこないました。



8/20 信州公衆衛生学会

信州公衆衛生学会第11回総会が本学を会場に開催されました。



ベトナム人留学生



ベトナム・ゲアン省立 Vinh 医科大学看護学部講師 Mr. Nguyen Duc Duong (ニックネーム: アンディ) さんが、佐久大学大学院修士課程での留学を終え、7月28日に帰国しました。本学では、専門分野である「がん看護」について日本の実情を学び、また、学生に「ベトナムの看護教育の現状」について講義しました。3カ月の留学期間では、日本の文化に触れ、佐久での暮らしを満喫したようでした。

大学院科目等履修生



タイからの非常勤講師による「国際看護政策論」の授業

科目等履修生制度が今年度より始まりました。大学院で開講する科目のうち特定の科目を履修し、所定の試験等に合格すると本学の単位が修得できます。今年度は前期・後期合わせて、4名の履修生が7つの科目を履修しています。

履修生の声

前期1科目、後期2科目を履修しています。自分のライフスタイルや仕事などで無理することなく、大学院の授業を学ぶことができます。

新任教員紹介

①担当領域 ②出身地 ③出身校 ④趣味 ⑤自己PR

佐久大学信州短期大学部に新しく着任された先生です。

佐久大学信州短期大学部  
福祉学科 准教授

廣橋 雅子



- ①第二言語教育 (中国語、日本語)・国際人材管理
- ②台湾(日本国籍)
- ③台湾中央大学大学院 人力资源管理研究科MBA取得
- ④温泉・寺院めぐり
- ⑤優しさや思いやりを大事にしながアジアの介護人材を育てたいと思っています。日本の良さを広め伝え、アジアの安定した楽しい高齢化社会をつくりましょう。

# 第9回 秋桜祭 & 第29回 信陽祭

“LINK～みんなと繋がる大学祭～”

10月23日(日)午後7時、夜空を飾った花火とともに2日間にわたる大学祭が幕を閉じました。今年は、模擬店を出店した学生団体も多く、地域の皆さんによるステージ発表も盛りだくさんで、例年以上に多くの方の来場がありました。たくさんの時間をかけて作り上げた大学祭ですが、最後は大学・短大の学生たちが一致団結し、出演者、来場者の皆さんと素晴らしい繋がりを持つことができました。

横澤夏子さんらによる  
お笑いライブ



大学祭実行委員会メンバー



模擬店



展示発表



合唱サークルのステージ



軽音サークルのステージ



献血の呼びかけ



短期大学部生による花笠音頭



望月の駒を歌う会の皆さん



後夜祭の最後は恒例の花火

## 華道 サークル



和やかな雰囲気の中、古典的な生け方からフラワーアレンジメントまで、様々な手法でお花を生けています。毎年、大学祭では華道展を開催しています。今年も色々な種類のお花を思い思いに生け、素敵な作品ができました。12月はクリスマスアレンジメントを作ります。9名の部員は、和気あいあいと楽しく活動しています。

今年度の大学祭のテーマも「LINK」でした。本誌も、学内外の皆さんがつながるための一助となれば幸いです。  
(佐)

編集後記

佐久学園ではさまざまな教育・研究活動が行われています。そしてその成果は、公開講座や生涯大学校といった形で地域・社会へ還元し、地域の皆さんとつながっています。

## Voice of Graduates No.3 卒業生の声



医療法人行堂会ながの訪問看護ステーション (岡山県総社市) 勤務

川口 久子 (旧姓吉武) さん  
別科助産専攻1期生

Q1 卒業してから現在

A1 卒業後、総合病院の産婦人科混合病棟で助産師として勤務。結婚し、退職。その後、地域の個人病院で看護師として勤務した後、出産などを経て再就職。現在は、小児から老年期まで幅広い方の看護をしています。今は看護師としてスキルを磨き、今後また助産師として、お産に関わる仕事をしたいと思っています。

Q2 助産師という仕事の魅力

A2 沢山の方との出会いがあります。女性のサポートや命の誕生のお手伝いができる素敵な仕事です。

Q3 助産師の仕事で大変だったこと

A3 数えきれないほどありますが、喜びの方が勝るので忘れませんでした!!

Q4 うれしかったこと

A4 様々なエピソードはありますが、女性が母親になった瞬間の「笑顔」は、言葉にできない喜びを感じます。

Q5 大学時代の思い出

A5 実習! 飲み会! 苦楽を共にした仲間との思い出は沢山あります。フラスタークルにも所属し、花の大学生活を満喫できたことも一つです。

Q6 学生にアドバイス

A6 学生の時にしか学べない事も沢山あります。日々の生活を満喫して悔いのない学生生活を送ってください。

Q7 今後の目標

A7 スキルを磨き、自分の理想とする助産師に1歩でも近付くこと! 出産、育児を経験し、今は家族との時間を大切にすることもスキルアップには欠かせないものだと感じています。